



“ふわふわ言葉”

毎朝、8時15分に朝の放送が流れます。その中に「今週のふわふわ言葉は〇〇〇〇です。皆さんはもう使いましたか。」といったフレーズがあります。“ふわふわ言葉”とは聞き慣れないですが、「ありがとう、がんばれ、手伝うよ、ドンマイ」といった温かい言葉掛けのことです。

各学級の帰りの会を覗くと、他の子の良い行為や、してもらって嬉しかったことなどを発表する機会が設けられており、子供たちに“ふわふわ言葉”が浸透しているように思います。確かに南小では、荒い言葉はあまり聞かれません。

“ふわふわ言葉”の反対は“ちくちく言葉”と言われます。読んで字のごとく相手を傷つけるとげのある言葉のことです。“ちくちく言葉”に加えて“ちくちく目線”というのもあるようです。

普段“ふわふわ言葉”を心掛けてはいても、心の状態によっては、つい“ちくちく言葉”が出てしまうということもあると思います。近年、子供たちの間では、オンラインゲームを介した“ちくちく言葉”による人間関係上のトラブルが多く発生しています。叩かれても痛くない、走っても疲れない仮想空間の中にいる間は、人間関係という現実には鈍感になってしまうのかもしれない。

オンライン上であっても“ふわふわ言葉”が使われるような子供たちの心の安定を願っています。使用時間などについては御家庭で話し合われていることと思いますが、子供たちの心が“ふわふわ言葉”を発しやすい状態か“ちくちく言葉”を発しやすい状態かを把握いただくことも大事なことだと思います。

子供たちが時間をかけてせっかく築いてきた人間関係を、心の状態の鈍感な時の“ちくちく言葉”によって、台無しにしてしまわないことを願っています。（校長 上野 明彦）



その一言

その一言で 励まされ
 その一言で 夢を持ち
 その一言で 腹が立ち
 その一言で がっかり
 その一言で 泣かされる
 ほんのわずかな一言が
 不思議に 大きな力持つ
 ほんの一寸の 一言で